

葛原校区の状況

平成28年9月現在

人口	12,732人	世帯数	5,998世帯
14歳以下	1,809人	高齢化率	26.6%
15～64歳	7,532人	一人暮らし高齢者	790人
65～74歳	1,790人	福祉協力員	71人
75歳以上	1,601人	民生児童委員	18人

葛原校区社会福祉協議会の取組

- 高齢者サロン事業
高齢者を対象に、おしゃべりを通してストレス解消し、頭と心と体の健康づくりを目指し開催しています。また、血圧測定や健康相談にも応じています。
- 生活支援活動
買い物が困難な高齢者を支援するために、ふれあい朝市「わいわい市場葛原」をおおむね毎月第1土曜日に開催しています。
- ふれあいバス研修
一人暮らし高齢者と75歳以上の方を対象にバス研修を行い、町内ごとの交流を深めています。
- 年末年始ふれあい活動
年末年始にふれあい訪問を町内ごとに実施しています。
- 葛原ふれあい春祭り
防災と福祉をテーマに地域交流のために実施しています。
- 広報活動
社会福祉協議会の活動を地域住民に周知するために、校区社協だよりを年数回発行しています。

誰でもが安心して暮らせる 優しくて活力のあるまち 葛原

住民発！

葛原校区 小地域福祉活動第一次計画《概要版》
2017年～2021年



ふれあいネットワーク

小倉南区葛原校区社会福祉協議会

基本
理念

誰もが安心して暮らせる優しくて活力のあるまち 葛原

葛原校区の住民が「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を実現するために、4つの基本目標を柱として、福祉活動に取り組みます

基本目標1

安全安心清潔で美しい地域づくりに努める誰もが住みたいと思うまちづくり

実施項目

- ◎安全安心まちづくりのための自主活動
- 交通・道路等の危険個所の改善対策
- 安全安心のパトロールの徹底
 - ・子どもたちの見守り強化
- 町内ごとの自主防災活動の徹底
 - ・町内ごとの連絡体制づくりの確立
- 環境パトロールの実施

基本目標2

買い物弱者への対応など、地域の暮らしを支え合うまちづくり

実施項目

- ◎わいわい市場の拡充をはかり買い物弱者を支援
- わいわい市場の複合開催の実施
 - ・買い物遠距離地区などの選定
- わいわい市場取り扱い品の安定確保の為の施策
 - ・取扱い品の拡充
- 買い物弱者へのあらゆる対策を実施

基本目標3

高齢者や一人暮らしの人とのふれあいの輪が広がる、思いやりのある優しいまちづくり

実施項目

- ◎地域の交流、高齢者との交流のためのサロン活動の実施
- マンション集会所、町内会集会所を利用した有益なサロンの開催
- 地域コミュニケーションを深めるための具体的項目の選定と活動の実施
 - ・グラウンドを活用した軽度の運動の実施
 - ・相互声掛けを密にしたサロンへの参加促進

基本目標4

地域交流、世代交流の絆を深め、福祉活動を推進する住み良い楽しいまちづくり

実施項目

- ◎次世代の地域福祉活動者の育成と世代交流の活動の実施
- 広報紙やホームページを活用したPR
- 若い人や高齢者が合同で参加できる体制づくり
 - ・多世代交流、地域交流のための行事の開催、参加の促進(スポーツ、まつり等)
 - ・ふれあいにより親睦をふかめ人材を発掘
- 学校の取り組みと連携したPTA関係の若い人たちを巻き込んだ交流の場の拡大

【地域の諸団体・機関と連携】

まちづくり協議会・自治連合会・民生委員児童委員協議会・葛原小学校・PTA・保育園・安全安心パトロール隊・老人会・市民センター・警察・行政機関・市、区社会福祉協議会・地域生産者・販売業者・企業

- ・ゴミのポイ捨てが多い
- ・犬の糞を公園や道路に放置している
- ・ゴミ出しマナーを守らない人がいる
- ・通学路の狭い道をスピードを出して行く車がある
- ・路上駐車が多い
- ・道路が狭く車が通行人に接近して危険
- ・車の運転手のマナーが悪い

- ・起伏の多い地区で、買い物に行くのに苦労する
- ・旧労災病院を利用していたが、無くなって困っている
- ・公共バスの撤退（路線変更）により、高齢者には大変不便になった
- ・運転するのが難しくなり、今後の買い物に不安を感じている
- ・わいわい市場までも遠い
- ・わいわい市場開催を広めてほしい

町内会長・福祉
協力員・民生児
童委員等から
の問題提起

- ・気楽に集まれる場所がない
- ・身近の場所での交流の場所が欲しい
- ・高齢者向けサロンが地域に多くあって欲しい
- ・サロンの参加者が増えない
- ・サロンの開設を誰に相談したらいいのかわからない
- ・空家が多いので、利用してサロンを立ち上げたい

- ・校区行事に若い人の参加が少ない
- ・町内会に入らない人が多い
- ・役員のなり手がいない
- ・福祉協力員になる若い人がいない
- ・役員が高齢化している
- ・町内の中で、行事に不参加の人に不満の声がある
- ・町内の中で色々な情報交換ができない